

# CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KT工場	階数	地上1階
建設地	宇城市松橋町古保山字一本松2520	構造	S造
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	70人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	2,220時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年4月7日
敷地面積	66,980 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社 Ai都市デザイン建築事務所
建築面積	17,214 m <sup>2</sup>	確認日	2023年4月7日
延床面積	16,743 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社 Ai都市デザイン建築事務所

## 2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)		BEE = 0.8		■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$																																	
<p>■ 環境効率評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ランク</th> <th rowspan="2">ランク表示</th> <th rowspan="2">評価</th> <th colspan="2">判定値</th> </tr> <tr> <th>BEE値</th> <th>Q値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>★★★★★</td> <td>素晴らしい</td> <td>3.0以上</td> <td>50以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>★★★★</td> <td>大変良い</td> <td>1.5以上3.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B<sup>+</sup></td> <td>★★★</td> <td>良い</td> <td>1.0以上1.5未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>B<sup>-</sup></td> <td>★★</td> <td>やや劣る</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★</td> <td>劣る</td> <td>0.5未満</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B <sup>+</sup>	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B <sup>-</sup>	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—				
ランク	ランク表示				評価	判定値																															
		BEE値	Q値																																		
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																	
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																	
B <sup>+</sup>	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																	
B <sup>-</sup>	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																	
C	★	劣る	0.5未満	—																																	
<p>■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能 (ランク表示)</p>		<p>排出率</p> <p>82%</p>		<p>■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(排出率)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30%以下</td> <td>★★★★★</td> </tr> <tr> <td>30%超60%以下</td> <td>★★★★</td> </tr> <tr> <td>60%超80%以下</td> <td>★★★</td> </tr> <tr> <td>80%超100%以下</td> <td>★★</td> </tr> <tr> <td>100%超</td> <td>★</td> </tr> </tbody> </table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	★★★★★	30%超60%以下	★★★★	60%超80%以下	★★★	80%超100%以下	★★	100%超	★																				
判定値(排出率)	ランク表示																																				
30%以下	★★★★★																																				
30%超60%以下	★★★★																																				
60%超80%以下	★★★																																				
80%超100%以下	★★																																				
100%超	★																																				

## 3 熊本県重点評価結果

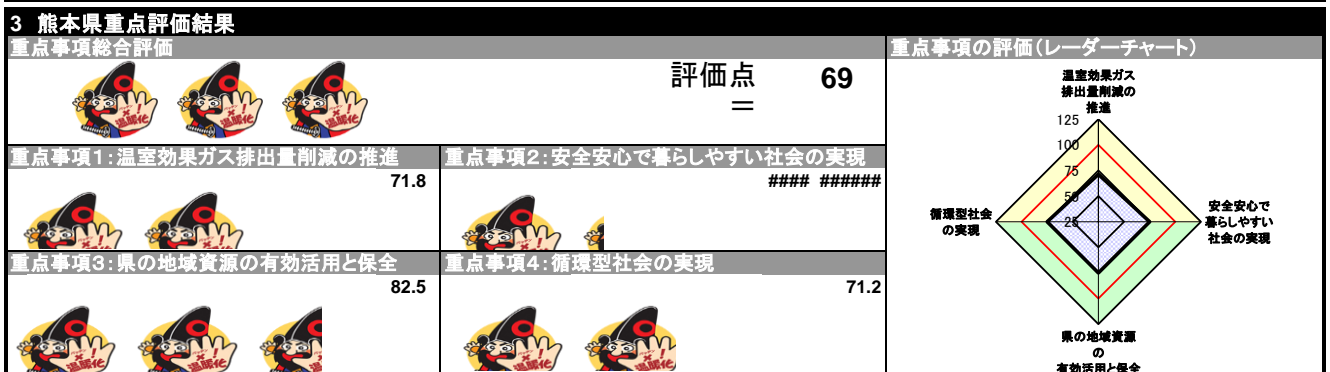
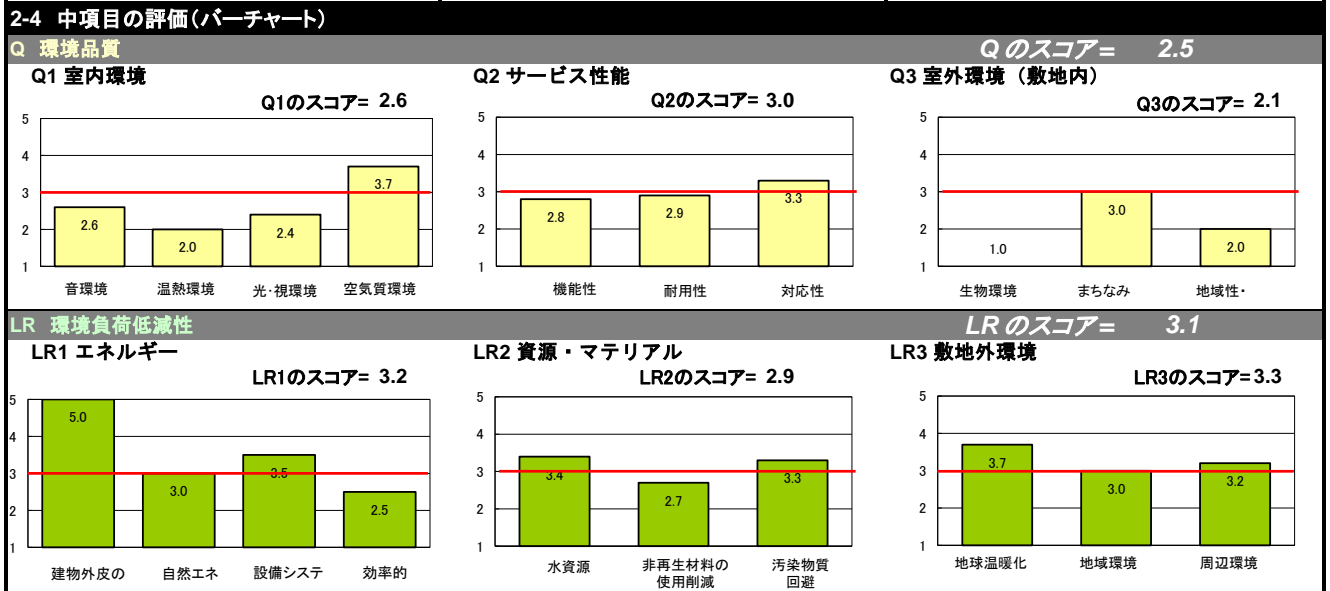
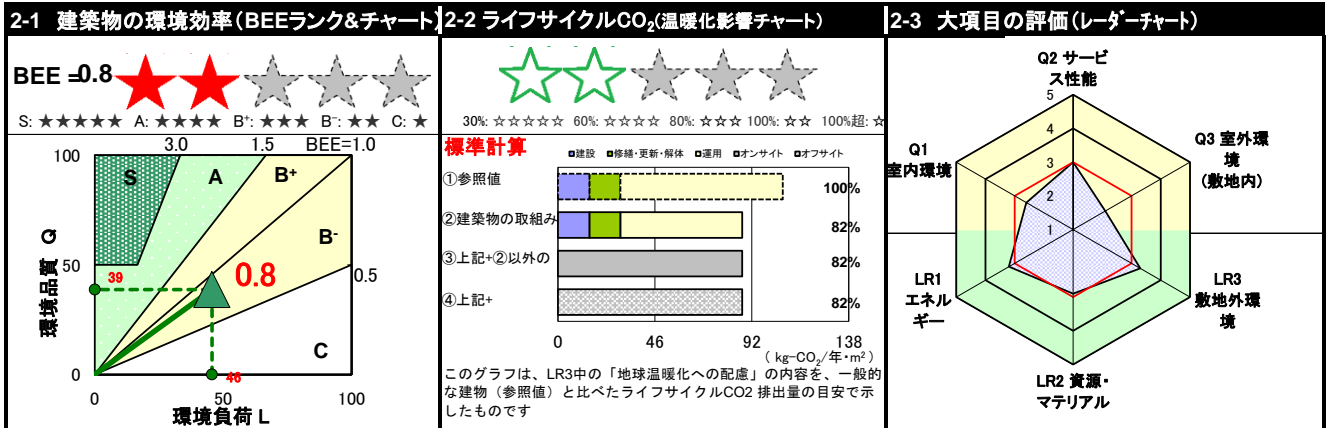
■ 重点事項総合評価		評価点												
		69												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	71.8	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	50.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5													
【重点事項4】 循環型社会の実現	71.2													

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KT工場	階数	地上1階
建設地	宇城市松橋町古保山字一本松2520	構造	S造
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	70人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	2,220時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年4月7日
敷地面積	66,980 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社 Ai都市デザイン建築事務所
建築面積	17,214 m <sup>2</sup>	確認日	2023年4月7日
延床面積	16,743 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社 Ai都市デザイン建築事務所



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**KTE場**

評価点が3超の項目 水色セル欄に数値やコメントを記入  
⇒Q1～Q3シートやLR1～LR3シートにおける採点の根拠に倣って、要旨を記入してください

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>配慮項目</b>										
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.31</b>			<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.6</b>	0.15			<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音						<b>2.2</b>	0.40			
1 開口部遮音性能						<b>3.0</b>	0.60			
2 界壁遮音性能						<b>1.0</b>	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.0</b>	0.35			<b>2.0</b>
2.1 室温制御						<b>3.1</b>	0.50			
1 室温						<b>3.0</b>	0.38			
2 外皮性能						<b>2.0</b>	0.25			
3 ゾーン別制御性		空冷ヒートポンプパッケージエアコン				<b>4.0</b>	0.38			
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式						<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.4</b>	0.25			<b>2.4</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光率						<b>3.0</b>	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						<b>3.0</b>	0.40			
3.2 グレア対策						<b>1.0</b>	0.30			
1 昼光制御						<b>1.0</b>	1.00			
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.7</b>	0.25			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		基準法を満たし、F☆☆☆☆をほぼ全面に採用				<b>4.0</b>	1.00			
4.2 換気						<b>3.6</b>	0.30			
1 換気量						<b>3.0</b>	0.33			
2 自然換気性能		0.076 ≥ 0.067 (1/15)				<b>5.0</b>	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						<b>3.0</b>	0.33			
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視										
2 喫煙の制御						<b>3.0</b>	1.00			
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.8</b>	0.40			<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>2.3</b>	0.40			
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペース12㎡以上(14.238㎡/人)				<b>5.0</b>	0.33			
2 高度情報通信設備対応						<b>1.0</b>	0.33			
3 バリアフリー計画						<b>1.0</b>	0.33			
1.2 心理性・快適性						<b>3.3</b>	0.30			
1 広さ感・景観		天井高:2.7m以上				<b>4.0</b>	0.33			
2 リフレッシュスペース		1%以上のリフレッシュスペース+自販機				<b>5.0</b>	0.33			
3 内装計画						<b>1.0</b>	0.33			
1.3 維持管理						<b>3.0</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						<b>3.0</b>	0.50			
2 維持管理用機能の確保						<b>3.0</b>	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.9</b>	0.30			<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						<b>3.0</b>	0.80			
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.2</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						<b>3.0</b>	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>2.0</b>	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用しEは不使用				<b>5.0</b>	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.20			
2.4 信頼性						<b>2.6</b>	0.20			
1 空調・換気設備						<b>3.0</b>	0.20			
2 給排水・衛生設備						<b>2.0</b>	0.20			
3 電気設備						<b>3.0</b>	0.20			
4 機械・配管支持方法						<b>3.0</b>	0.20			
5 通信・情報設備						<b>2.0</b>	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.2</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上【事務所】(3.635m)【工場】(13.716m)	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる(ケーブルラック、配管配線)	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる(ケーブルラック、配管配線)	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.39</b>	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPm = 0.63	<b>5.0</b>	0.01	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.12	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.75	<b>3.5</b>	0.62	-	-	<b>3.5</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.5</b>	0.25	-	-	<b>2.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水水栓、節水型機器	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.7</b>	0.60	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		・躯体と仕上げ材が分別可能	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない(グラスウール)	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出率=82%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	排出基準以下+蒸発散装置設置	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車、駐輪スペースの確保、荷捌き用車両施設の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	K工場	

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点	69	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				71.8	0.40	28.72
Q1-2.1.2	外皮性能	2.0	0.10			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.10			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.10			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.01			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.5	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				50	0.20	10.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				71.2	0.20	14.24
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## ◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

## ◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

## ■ 環境関連の配慮事項

KT工場

印刷:モノクロ  
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&amp;【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の景観に溶け込むよう配慮し、落ち着いた色彩の外観とした。</li> <li>・緑豊かなまちなみと調和がとれるよう、可能な限り緑地を設けた。</li> </ul>	
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・F☆☆☆☆建材を使用</li> <li>・窓を多めに設け、採光・通風に優れ、明るく開放的な雰囲気となるよう配慮した。</li> <li>・完全分煙とし、施設内の空気質環境に配慮した。</li> </ul>	
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天井高を高くし、食堂、談話室などのリフレッシュスペースを広めに計画した。</li> <li>・更衣室や洗面室等にゆとりを持たせた。</li> <li>・設備システムメンテナンスに配慮した。</li> </ul>	
Q3 室外環境 (敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の樹木や緑地などを活用しつつ、新たな緑地や築庭を設ける等して環境保全や配慮に努めた。</li> </ul>	
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の高い位置に常時開放の窓を設け、換気効率の向上を図り、排熱に配慮した。</li> <li>・事務所棟に複層ガラスを取り入れ、断熱性に配慮した。</li> </ul>	
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱材は、すべてノンフロンとした。</li> <li>・ハロン消火剤を使用しない。</li> </ul>	
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な数の駐車スペースを計画し、周辺交通負荷軽減に配慮した。</li> <li>・浄化槽の放流先として、敷地内に蒸発散装置を設け、地域水流の保全、保護に配慮した。</li> </ul>	
その他	特になし	